

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒 社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒 人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進 高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成 目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指し、日々努力を重ねることができる生徒 誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒

3 評価する領域・分野	商業専門部
4 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	学習に関する調査では、専門科目に対する興味、関心が、高い状況にある。現状に甘んじることなく、地域連携の取組や資格取得の指導及び支援を更に充実させ、進路実現に繋げていきたい。
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 観点別学習評価の共通理解を図る。 (2) 地域連携や Sekishoko Company の運営の充実を図る。
6 重点目標を達成するための校内組織体制	商業専門部会議・コース主任会議・科目担当者会議等 その他、情報交換や指導力向上のための各種研修会への参加

7 目標達成のための具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標
<p>(1) 観点別学習評価の共通理解 授業評価検討委員会の設置 科長、コース主任で検討、科会で共通理解を図る。</p> <p>(2) 各コース・クラスの特色ある取組</p> <p>ア 外部連携の推進</p> <p>総合コース 岐阜県信用保証協会、JTB 情報コース やまへい農場 流通コース 関商工会議所 会計コース 日本経済新聞社 進学クラス 日本政策金融公庫 } 合同授業</p> <p>イ Sekishoko Company の運営 商工連携で専門高校の魅力を PR する。</p>	<p>(1) 1、2年生の科目の観点別評価の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 科目責任者を中心にその都度、打合せを行う。 3年生「課題研究」レポートにて試行する。 科目担当教員間の連携と協力体制を確立する。 <p>(2) 各コース・クラスの特色ある取組の検証</p> <p>ア 商業の見方や考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理、分析を進める能力が高まっているか。 地域への貢献意識を高め、将来、地域で活躍できる人材の育成を行っているか。 <p>イ Sekishoko Company の運営 オープンスクールの参加状況、本校希望者概数や高校入試における出願者数。</p>

9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<p>(1) 1、2年生科目、3年生「課題研究」での実施</p> <p>(2) STEAM教育、商品開発等の外部連携実施</p> <p>ア 各コースでの外部連携、商品開発</p> <p>イ オープンスクール、中学校訪問、出前授業の実施</p>	<p>(1) 適切な三観点評価ができたか。</p> <p>(2) 持続可能な取組であったか。</p> <p>ア 計画・実施・反省と事後変化</p> <p>イ 参加者数やアンケート結果</p>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>

12 成果・課題	<p>○地域協働活動として、地元企業等との STEAM 教育、商品開発等の連携ができた。</p> <p>○刃物まつりや、やまへい農場、道の駅「平成」、本町 BASE、武芸川温泉など地域との連携授業を充実させることができた。</p> <p>○2回のオープンスクール、中学校訪問、出前授業を実施し、パンフレットや広報誌、HPを更新して、学科の魅力を中学生に発信できた。</p> <p>●2、3年生「課題研究」について体系的に取り組んでいく必要がある。</p>	総合評価 A (B) C D
----------	---	-------------------

13 来年度に向けての改善方策案

- ・探究活動を取り入れた授業や実践的、体験的な学習活動を推進する。
- ・中学校への広報活動、SNSの活用、パンフレットの改良等を更に見直し、商業科の魅力を発信する。
- ・指導力向上のための研修等、積極的に参加し、生徒に還元をしていく。

II 学校関係者評価

実施年月日 1月29日(月)

【意見・要望・評価等】

- ・地域協働活動の内容が充実しており、感嘆しました。引き続き、取り組んでいただきたい。
- ・商工でコラボして一緒にやることはとても良いことだと思っています。
- ・地域における卒業生の評価は非常に高いので、先生方は、取り組まれた内容に自信を持ってほしい。
- ・マナーや礼儀作法など今までの先輩からの伝統を受け継いでいくとよい。